工業つ子

No. 113
—発行日—
2015. 04. 21
—編集—
長崎工業高校新聞部
—発行—
長崎工業高校新聞部

ドキドキ 合格発表

三月十八日の高校入試の合格発表。ボードから自分の番号を一生懸命探している姿は二・三年生も身に覚えがあると思います。合格直後の新入生と保護者にインタビューし、その思いを聞いてみました。

▲いろんな感情が溢れて…

▲ 緊張の瞬間

喜びの声 ▶

嬉しい！ ―合格発表インタビュー

①今の気持ち
②長工でやりたいこと
③合格祝いに食べたいもの

①今まで頑張ってきたかいがあった／嬉しいです（泣）受からないと思ってたので信じられない／幼稚園の時からの友達と一緒に合格出来たので嬉しかった／あじわったことのない素晴しい気持ち／不安だったけど合格出来てよかった／めっちゃ嬉しい。嬉し過ぎ。受けてよかった。

②科の専門的な勉強／ソフトテニス／水泳を頑張ってきたのでこれからも頑張り長工で活躍したい／部活を楽しむこと（水球）／溶接／友達づくり／プログラミング

③お寿司／家族と一緒ならなんでもいい／それどころではない／魚／ハンバーグ／焼肉

頑張って！ ―保護者インタビュー

①今の気持ち
②長工に期待すること
③子供に期待すること

①良かった／ホッとした／率直に嬉しい／倍率が高かったのでドキドキしたけど良かった

②技術で世界に羽ばたく／のびのびと高校生活を送れるようにサポートしてほしい／先生、生徒、保護者が一体となること／先輩たちが優しい人であってほしい／体育祭が楽しみ／学校自体の活躍／自分らしく頑張って／無理をせず充実した高校生活を！／悔いなく頑張れ／自分の道を見つけるべく勉強についていってほしい／資格とかとって充実した学校生活を送ってほしい／友達が増えてほしい／勉学に励んでほしい

合格したことの喜びがとても伝わってきました。この気持ちを胸にこれからの高校生活を後悔しないよう充実したものにしてください！

たるみ or ゆとり？

新しい制服に身を包んだ一年生が高校を目指して歩いている姿を目にする今日この頃。早くも新学期が始まってしまいました…。皆さん、春休みの気分はもうすっかり抜けたでしょうか。休みになり乱れがちな生活リズム。先輩からのメッセージにも「睡眠・勉強、これ大事」とありました。しっかり睡眠し、朝型リズムで頑張りたいところです。

さて、この年度の初めというのは高校での新たな一歩を踏み出す新入生や一年後に控える高校卒業後の新たな一歩を踏み出すために必要な準備をする三年生にとっては気が引き締まる時期です。

それでは私達二年生はどうかというと、どうしても気が抜けたり、たるんだりしてしまうことが多いとされます。学校にも慣れてきたことからくるのかもしれない、この気のたるみ。よく例えられるのは電線です。電線を左から見るとすると最初は真っ直ぐ行っていても途中からたるんでいき、最後にはまた真っ直ぐ上に上がっていきます。この光景のように真ん中というのはたるんでしまうというわけなのです。しかし、電線のこのたるみは電線が切れないために必要なものです。真ん中というのは実に重要です。物を支えるにも人を引っ張っていくにも中心というのはとても大切です。

二年生は長工の真ん中。一旦昨年の今頃のことを思い出し、気を引き締め、自分達が先輩方を、そしてこの長工を支えていくという考えを持つことが大切だと思います。

ただ、気持ちが張りっぱなしでは切れてしまいます。二年生だからこそ持てるゆとりを大事にし、勉強・部活動などで多くのものを蓄えつつ、三年生を支え、一年生を引っ張るようになっていけたらと思います。そうすると学校全体も伸びて行けるのではないでしょうか。

（溝上）

まちに灯りを！ 竹とうろう

今年三月に卒業した建築科三年生がクラス全員で取り組み制作した竹灯篭の作品と建築研究部の作品。長崎市の「まちあかり」イベントで光り輝きました。

二月第一週に長崎市寺町界隈で行われた「まちあかり」イベント。今年は一回目から参加・協力している建築研究部に加えて、今年三月卒業した建築科がクラス全員で大作に取り組み参加。光り輝く作品は幻想的でした。

そこで、このイベントに関わったA3の生徒や建築研究部、市役所の方や見に来ていたお客さんにお話を伺いました。

▼足場を組んで設置の準備（A科）

◀クリスマスツリーがモチーフ（建築研究部）

▶一×三九十一の芸術（旧A3作品）

クラスの絆が深まった リーダー宮本君に聞く（旧A3）

「富士山と梅と月で日本をイメージ。十二月にデザインを考え、冬休みに制作開始。一・五ｍずつ規則正しい穴を開けるのに苦労した。最後にクラス皆で協力して作業し、絆が深まった」

多くの人に見てもらえた 建築研究部部長は語る

「思い通り作れたので満足。全体的なサイズ感を合わせるのが大変だった。十二月初めから約一か月ほどかけて、多くの人に見てもらえるよう気持ち作に取り組み参加。光り輝く作品は幻想的でした。そこで、このイベントに関わったA3の生徒や建築研究部、市役所の方や見に来ていたお客さんにお話を伺いました。

今日の一枚 ～プレゼント～

▲全盛期の校庭の桜

今回の一枚は、グラウンドから体育館の入口にかけて咲いていた桜の一枚。この桜並木は離退任される先生方に取材を行った際、好きだった場所としてよく候補にあがっていました。

しかし、四月に入ってまもなく風に吹かれてしまいました。長工を離れ、しばらく見ることができない先生方、新しく長工へ来られた先生方に、新聞部からささやかなプレゼントとして今回の一枚を贈りたいと思います。

（松尾）

科学部 九州大会 会場の大きさに緊張！

二月七・八日に沖縄で開催された九州高等学校生徒理科研究発表大会に科学部物理班・化学班が出場。それぞれの班長に大会に出場しての心境をインタビューしました。

物理班

●班長・M3谷口由樹君

「二回目の九州大会だった。周りのレベルが高く緊張したけれど自分なりに良い発表ができたと思う。実験の装置を作ることに時間とられ、実験ができなかった。次はこの研究をポスター発表するので、そこでは良い成績をとりたい。来年は物理班での発表で九州、全国を目指したい」

堂々と▶

▼首里城で記念撮影

化学班

●班長・C3中村聡良君

「昨年も九州大会は経験したけど会場が思ったよりも大きくて緊張した。会場に圧倒されて緊張し、時間がオーバーした。九州大会に行くことを目標に今年はポスター発表を頑張りたい」

どちらの班も次の九州大会を目指して意気込んでいます。これからの活躍も期待しています。

青春日記♪

こんにちは。四月になって、めでたく二年生になりました。四月始めには「何かの都合で、お前だけ留年」なんていう笑えないジョークをかいますフールがいましたが、無事進級。

しかし、連日の雨と風課題による精神攻撃で心はぼろぼろ…。家に帰っても疲れのあまりいつもの三割増し早く寝てしまいます。

さて、満開だった桜も精神を蝕むだけ蝕んだ悪天候たちによって散ってしまいましたが、春休み、事は起こりました。これでもか！と咲き誇っていた桜並木がいつもの通学路にありました。そんな桜の下を歩いていたのですが、ひゅ～と風が一吹き。当然花びらははひらひらと舞い、僕の背中から制服の中に。蜘蛛でも入ったのかと「ひぁっ！」と変な声が出てしまい、周りの二人組の新社会人が驚く。慌てての学ランをぱたぱたと。花びらは知らん顔して舞い落ちます。

「なんだ？桜か…」あまりの慌てようにお姉さんが何かが見覚えのあるものを持っている。「落とましたよ」とメモ帳を親切に届けてくれました。

まさか新聞部の魂とも言えるメモ帳を落としてしまうとは。このところそそっかしいなぁと自覚する回数が増え気がします。本当に二人には感謝の気持ちでいっぱいです。

（松尾）

綺麗と言われて嬉しい 市役所の方のお話

「この企画は四年目。テーマは『物の魅力に光をあてる』。ここはお寺が多く、普段はさほど人通り多くはありません。イベントの開催で大人が子供までここを訪れ、町の魅力に触れて貰えます。高校生の協力は大変に助かっていますと言われると嬉しいです」

また市役所の方。

「綺麗」に来られた一般の人に話を伺うと「近寄ってみると心も身体も温まる」など絶賛されていました。

夜になると作品にあかりが灯り、幻想的でした。普段はしずかな寺町通りもたくさんの人で賑わっていました。皆さんも来年はぜひ、見に行ってみてください。

ちを込めて作った」

先生方に感謝 先生方お元気で…

離・退任式 H26年度

出会いと別れの春。昨年度は十九名の先生方がこの長工を離れられました。今回も新聞部は退任、転任される先生方にインタビュー。先生方の長工への思いが溢れています。

質問内容
①今の気持ち
②一番の思い出
③今の長工を色に例えると（理由）
④長工を採点すると
⑤長工で一番好きだった場所
⑥長工生へ一言

名残り惜しくも、前へ！ 退任の先生方

■**馬場正先生**（理科）
①複雑。やっと慣れたところだったのにちょっと寂しい。
②かつて長工を卒業し、やっと母校の教壇に立てた。後輩である今の生徒の姿を見られた。
③青―高校生らしい、元気さや爽やかさ。
④九十点。出し惜しみがある。あとの十点は頑張れるところがある。
⑤理科室の前。吹奏楽の演奏が聞こえた。
⑥いくつになっても母校を誇りに。

■**松尾堅太郎先生**（J科）
①皆と別れるのが寂しい。
②プログラミングコンテスト。初めての経験で、二年生と一緒に頑張ったから。
③金属っぽい色―工業といえば物づくりだから。金属をトンテンカンテンする感じ。
④八十五点。もうちょっと生徒に自主性と積極性が欲しい。
⑤パソコン室。
⑥いろんなことに興味を持って、失敗してもいいから挑戦してほしい。

■**松尾恒先生**（A科）
①なごりおしい気持ち。
②初めて教員となった場所なので、全てが思い出です。
③緑―よく学校で見る封筒が緑だから。
④七十八点。
⑤入口が三ヶ所ある所。
⑥また会う日まで…。

▲最後の挨拶

▲果たし状を送る

▶花束贈呈

■**峰敏彦先生**（国語）
①清々しく爽快な気分。
②P1の諸君と過ごした一年間。歓迎遠足、体育祭、文化祭、競技大会、HRと授業すべてです。
③虹色―八科それぞれに独自の色彩があるから。
④九十五点。
⑤グランド横の階段観覧席。春休み中、桜の下で森先生とよく昼食をとっていました。
⑥自分の可能性を信じなさい。

長工生のさらなる頑張りを期待して… 離任の先生方

■**志田良治先生**（数学）
①寂しいですね。
②バレー部監督として試合に出たこと。
③赤―競技大会等での生徒の熱意が凄かったから。
④八十点。
⑤体育館。
⑥元気を忘れず自分の目標に向かって努力して下さい。

■**小川竜太先生**（A科）
①やっと卒業できたかな。
②もの作り木材加工部門で九州二位になったこと。
③黄緑―スクールカラーは緑だけど、まだなりきれていないから。
④八十点やっておこう！
⑤施工室。
⑥近所にいますので陰から見守っています。

▲工業といえば ものづくり

▼やっと卒業できた

▲熱意が凄かった！

■**田渕伸夫先生**（事務長）
①残念。もうちょっと長工で仕事をしたかった。
②体育館の工事。
③深緑―スクールカラー。
④百点。
⑤池のところ。
⑥どこに行っても応援しています。もっとパワーを出して頑張ってほしい。まだ頑張れる。

■**大貫達嗣先生**（美術）
①寂しいこともある。でも、次があるから頑張らなきゃいけない複雑な気持ち。やりたいことはあるけれども転勤は避けられない。宿命だ。
②美術部の活動が活発で、一緒にできてよかった。
③モスグリーン色。ちょっとくすんだ緑。―もっともっと輝く緑になってほしいから。
④七十五点。もっと皆が一生懸命に。手抜きが目立つ。
⑤グラウンドの桜並木。
⑥元気で頑張れ！

■**大橋公一先生**（電気）
①寂しい。もうちょっと居たかった。
②七年目にして部活でアンサンブルの金賞をとれた。
③白―リセット。
④七十九点。
⑤部室。
⑥子を叱る道は来た道、老いを笑うは往く道。

■**長池紀英先生**（副校長）
①古巣を去る寂しさと、新しいところに飛び込むドキドキ感。
②部活動、ものづくり、資格取得など生徒たちの活躍。
③バラ色―薔薇、各学科にもそれぞれのテーマ、彩がある。
④五十点。道半ばで一番頑張って欲しい。
⑤入学式前後の桜が咲いたグラウンドの法面（のりめん）。
⑥出来ることを深く、そして広げる。チャレンジあるのみ。

▲寂しさと ドキドキ感

◀転勤は宿命だ

金賞がとれた！

■**汐碇淳先生**（体育）
①楽しかった長工を離れることと、みんなとの別れが寂しい。
②バスケ部のみんなが僕をウィンターカップに連れて行ってくれたこと。
③赤―炎のように今後、燃え上ってあがって欲しいから。
④六十点。
⑤体育館。
⑥これからも、もっと伸びて行くことを期待しています。どこにも負けない学校になって欲しい。

■**庄司顕彰先生**（数学）
①後ろ髪引かれるような思い（以下略）
②一昨年吹奏楽部から歌ってくれないかと誘われたこと。J科の生徒が修学旅行で三十円ずつだしてお土産を買ってきてくれたこと。（以下略）
③水色がかった緑―一人一人優しく謙虚（以下略）
④九十点。数学上の定理では一つ一つが…（この後五分続きました）

▼期待しています

▲えーっとね、あれはねーえーっとね…

■**鶴見吉孝先生**（事務）
①満足した。ある程度やった。
②体育館の改修工事。
③グリーン―いつも青々していて若々しい。
④百点。
⑤事務室。
⑥夢を持って頑張れ。

■**野原康子先生**（英語）
①ばたばたしていて実感が湧かない。今日離任式で卒業生の姿を見て、ぐっとこみ上げてくるところ。
②インテリアを三年間持った時に、文化祭でハンドベルを演奏してもらったこと。
③白―多分これから色が変わってくる。今は白。
④九十五点。
⑤桜の見える階段。
⑥自分の可能性を信じて未来を切り拓いて。

■**福田顕先生**（A科）
①この学校でやることはすべてやったので、清々しい気持ちと、次の学校への期待。
②自分が受け持っていたクラス全員で資格試験に合格したこと。
③シルバー―輝いているがいまひとつ大人しく控えめだから。
④八十二点。
⑤A3の教室。
⑥これからはライバルだね…。頑張れよ！

■**長工生**
①残念。長工生一人一人の活躍を期待しています（省略）

帰りたい！ こぶ工生!!! part2

～新聞部あるある・春休み編～

―脱力感より達成感!?。

シリーズ ロボコン道 ⑤

開幕！

三重県の英虞（あご）湾に代表される真珠貝から真珠を取り出し、加工し、装飾品に加工するまでをイメージした今年のルール。残念ながら伊勢海老ではなかった。いや、海繋がりで正解だな！

ルールが発表され、シーズンが開幕。最初はアイディアがないとロボットも作れないので、アイディア出し。今年のルールを見ていると「呼び径が十三の塩ビソケットと呼び径が十六の塩ビソケットに硬式テニスボールを乗せる」という鬼畜仕様が。ちなみにこの塩ビソケットは固定されていないので置く時に注意を払わないといけません。

去年の機構が使えそうな部分があ…る？（草場）

▼完成した子機

編集後記

発行が遅くなってすみません。本来なら入学式号のところだったんですが…。もう新学期が始まってしまいましたね。新入部員もたくさん入ってくれたので気持ちを切り替えて今年度も頑張りたいと思います。

先生方の期待に応えられるようこれからも頑張っていきたいと思います。先生方も元気に頑張って下さい。今まで本当にありがとうございました。

▼今までありがとうございました！！！